社会資本総合整備計画 都市再生整備計画 事後評価シート 青山地区 (原案)

> 平成25年12月 岩手県盛岡市

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県		市町村名			盛岡市		地区名		青山地区				面積	102ha	
	平成23年度~平成25年度		事後	事後評価実施時期		平成25年度		交付対象事業費			150百万円		国費率	39.90%		
			事業名													
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	既存建造物	既存建造物活用事業·高次都市施設(交流棟),地域生活基盤施設(情報板設置)												
	実施した事業		まちづくり活動推進事業(盛岡彫刻シンポジウム事業,青山雪あかり事業),事業活動調査費(事業分析費)													
			事業名						削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画 基幹事業 から削除		なし													
	した事業	提案事業														
	新たに追 加した事	基幹事業														
	業	提案事業		平成23年度~平成25年	唐 <b>上</b> // wasa - 上一:											
	交付期間 の変更			平成23年度~平成25年度		<mark>交付期間の変更に</mark> 指標、数値目標へ		はる事業、 の影響								
	+15				従前			票値	数	値	目標	1年以内の		効果発現要因	フォローアップ	
2)都市再生整備計 画に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標		単位			基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
	指標1	施設利用者数		Д	400	H21	1,200	H25		17,085	0	あり なし		利用者を増やすといった課題については、イベントの開催や各棟の団体利用者の増により、大幅な利用者の増加につながった。	平成26年4月末	
	指標2	イベント開催回数		0	3	H21	8	H25		20	0	あり なし		自主イベントの開催回数の増に 対する課題については、朝市を 月2回開くことで、回数の増加に つながった。	平成26年4月末	
	指標3	施設利用満足度		%	43.86	H22	60.00	%		62.83%	0	あり なし		当該施設を使っている方のつながりで利用者数が増えており、 その利用者の声を取り入れる努力による。	-	
	指標4											あり なし				
	指標5											あり なし				
3)その他の数値指標		指標	単位		従前	j値 目ネ		票値 数		値	目標	1年以内の 達成見込み		効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		1日 1示			基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1					
(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の 数値指標1															
	その他の 数値指標2															
	その他の 数値指標3															
4) 定性的な効果 発現状況	<u> </u>			:												
5)実施過程の評価			実施内容						実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		なし 都市再生整 都市再生整						備計画に記載し、実施できた 備計画に記載はなかったが、実施した 備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		施設名称の公募及び選考 都市再生素 都市再生素					を備計画に記載し、実施できた  を備計画に記載はなかったが、実施した  の  一  を備計画に記載したが、実施できなかった				_				
	持続的なまちる 体制の構築		指定官埋者の出すアンケート及び業務報告による意見の取り						経備計画に記載し、実施できた  整備計画に記載はなかったが、実施した  整備計画に記載したが、実施できなかった			指定管理者の自主的携やコーディネート、	の自主的事業活動に任せ、市は、地域の活動を進めるための連ィネート、情報の提供を行う。			

## 様式2-2 地区の概要

## 青山地区(岩手県盛岡市) まちづくり交付金の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 評価値 施設利用者数 単位:人 400 H21 1,200 H25 17,085 H25 歴史的景観資源を活かした賑わいのあるまちづくり イベント開催回数 単位:回 3 H21 8 H25 20 H25 〇施設全体を「地域の交流拠点」として計画 〇青山駅、青山小学校、青山児童センター、岩手県営体育館等の周辺施設と人の動線が結ばれた施設間相互に一体 施設利用者満足度 単位:% 43.86 H22 60.00 H25 62.83 H25 化が図られる計画 単位: ○運動のほか集会やイベント等、多様な「多目的ホール」として計画 単位: 基幹事業 提案事業 まちづくり活動推進事業 既存建造物活用事業・旧覆練兵場棟 高次 盛岡彫刻シンポジウム事業(盛岡ふれあ 都市施設・交流等棟 施設名称:盛岡ふれ 姫ヶ丘児童公園: ④情報板設置 い覆馬場プラザ内)平成24年度,平成25 東北新幹線 あい覆馬場プラザ 年度各年1回, 計2回 開催 (写真:上は施設全体,下はアリーナ棟) いわて銀河鉄道線 盛岡市役所青山支所:②情報板設置 国道4号 盛岡西警察署 青山児童公園 盛岡ふれあい覆馬場プラ ザ: ①情報板設置, ⑥掲 IGR青山駅: ③情報板設置 示板設置 基幹事業 提案事業 まちづくり活動推進事業 盛岡市立青山児童センター 地域生活基盤施設情報板設置 盛岡彫刻シンポジウム事業 (盛岡ふれあ い覆馬場プラザ内)平成24年度,平成25 ①覆馬場プラザ ②青山支所 ③IGR青 岩手県営体育 年度各年1回, 計2回 開催 山駅 (下に写真掲載)④姫ヶ丘児童公園 ⑤厨川中学校 ⑥覆馬場プラザ掲示板 盛岡市立厨川中学校:⑤情報板設置 都市再生整備計画区域 世代間交流等が担える地域の交流拠点となる施設がないという課題については、基幹事業により旧覆練兵場をアリーナ棟へ改修、新規による交流棟が建設され、アリーナ棟前には広場も設置され、新たな「地域の交流拠点」として の施設が造られた。当該施設が、運動、学校行事、地区内外の主催によるイベント開催などに使われることで、多目的な機能が発揮され、地域の交流拠点として賑わいがみられ、周辺施設や商店街とのつながりができてきた。 まちの課題の変化 今後はさらなる利用者の拡大のため、指定管理者による情報の提供として回覧やチラシ、ホームページの活用による情報の発信を継続していく。また、公共交通機関を使い来場するようなイベントを開催していくことにより、地域の活 性化を図る。 今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)